

### 青森県原子力防災訓練に参加しました

当発電所は、10月27日、青森県等が主催する「青森県原子力防災訓練」に参加しました。今回の訓練は、当発電所の運転中に地震が発生し、原子炉が自動停止した後、全ての交流電源および原子炉を冷却する機能が失われ、放射性物質が放出するおそれのある事象が発生したとの想定で行われました。

当日は、青森県、東通村、むつ市、横浜町、野辺地町、六ヶ所村のほか、関係機関などが参加し、避難所の開設や住民の避難、放射性物質の付着を調べるスクリーニング検査などの訓練が行われました。

発電所内でも所員および構内協力企業の社員合わせて約80名が参加し、対策本部の設置・運営や社内外への通報・連絡、大容量電源装置による電源確保、ホイールローダによる倒木撤去などの総合的な訓練を行いました。

また、青森県の防災ヘリコプターで発電所構内の傷病者を青森市内の病院へ搬送する訓練も実施しました。

当発電所では今後もさまざまな訓練を実施し、緊急時の対応力向上に努めてまいります。

～当発電所が実施した主な訓練～



対策本部の「運営訓練」



大容量電源装置による「電源確保訓練」



ホイールローダによる「倒木撤去訓練」



ヘリコプターによる「傷病者搬送訓練」

＜その他の訓練内容＞

- ・タンクローリーによる「燃料確保訓練」
- ・消防車による「水源確保および代替注水訓練」
- ・可搬式モニタリングポストによる「モニタリング訓練」 ほか

### 発電所敷地内の断層の補足調査を実施しています

当発電所は、敷地内の断層について、これまでの調査結果から少なくとも第四紀後期更新世(12万～13万年前)以降の活動性はないと評価しています。

新規規制基準に係る適合性審査に向けて既存データの再整理を進める中、今後の説明性の向上を図るため、データの拡充が必要と判断し、10月10日より敷地内断層の一部について補足調査を実施しています。

具体的には、敷地沿岸部の断層や敷地内主要断層の一部について、ボーリング調査等により試料を採取して詳細な分析等を行うこととしています。

なお、調査期間は2カ月程度を予定しており、調査結果については、今後の審査会合で説明していくこととしています。



敷地沿岸部の断層や敷地内主要断層の一部について、ボーリング調査等を実施中

### 東通中学校において「環境・エネルギー教室」と「放射線教室」を開催しました

当発電所は、10月、東通中学校の生徒を対象に「環境・エネルギー教室」および「放射線教室」を開催しました。3年生を対象にした「環境・エネルギー教室」では、地球温暖化とエネルギーとの関わりをはじめ、発電の仕組みについて自転車による発電体験を交えた学習を行いました。また、1年生を対象にした「放射線教室」では、身近にある放射線の特徴について測定実験を行いながら学習しました。

生徒たちからは「未来のため、環境のために、私たちができることを考え実行することが大事だと感じました」や「身近なところに放射線が使われていることに驚きました。放射線についてもっと知りたくなりました」などの感想が寄せられました。

当発電所では、今後も、地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援してまいります。



「環境・エネルギー教室」(10月26日)



「放射線教室」(10月29日)